

2025年11月吉日

 ケアパートナー株式会社

多様性と地域連携の“食”が生み出す新たな価値—— ケアパートナー全79拠点が競う6年ぶりフードコンテスト開催

ケアパートナー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:高山 尚弥)は、10月8日、コロナ禍を乗り越え、社内イベントである『フードコンテスト』を6年ぶりに開催しました。全国79センターの独自メニューでエントリーした中で、ケアパートナー高崎が最優秀賞を獲得。高齢者福祉の現場に多様性や食文化の重要性を問いかけるイベントとなりました。受賞作品を含むエントリーメニューは、今後全国のデイサービスの献立として提供予定です。

■“食”を通じた健康づくりとQOL向上

ケアパートナーのデイサービスでは、全センターに自社厨房を設置し、管理栄養士監修のもと健康的かつ多様な食事を提供。地域の食材や季節感を生かしたメニュー開発だけでなく、ご家族と楽しめる“持ち帰り夕食サービス”も展開しています。食事形態のバリエーション増加や個別ニーズへの対応が、利用者の生活の質向上と地域の健康増進につながっています。



■現場から生まれる新たな美味しさ — 多様性と共生への挑戦

今回のテーマは、「お客様に元気をお届けできる井ぶり料理」。全国79センターのフード担当者が、新しい発想で「見た目」・「味」・「食べやすさ」を追求し、実際に提供中のメニューで競い合いました。一次・二次審査を経て4センターが最終審査に進出。外部会場のキッチンスタジオで実際に調理を行い、役員や従業員で構成される審査員によりケアパートナー高崎が最優秀賞を受賞しました。地域の食材や異なる食文化が融合し、食の持つ“コミュニケーションの力”と“QOL向上”の可能性を改めて示しました。



■各センターの作品



ケアパートナー宇都宮南
巻かないキンパ丼

最優秀賞



ケアパートナー高崎
カラフル野菜の麻婆丼



ケアパートナー高松
木の実香る2種の
魚ざくざく唐揚げ丼



ケアパートナー大高
まごはやさしい丼

■当日のエピソード・参加者の声

スタッフ同士の助け合いや応援動画による感動シーンなど、調理を通じてチームワークも強化。高崎センターの新井さんは「お客様に元気を届けたいという思いで献立を考え、決勝では慣れない場所ながら料理の楽しさを改めて感じた。」と語りました。



受賞式の集合写真

■会社概要

- ・社名: ケアパートナー株式会社 (大東建託株式会社の100%出資子会社)
- ・代表取締役社長: 高山 尚弥
- ・所在地: 東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー21階
- ・売上高: 165.8億円
- ・ホームページ: <http://www.care-partner.com/>

本件についてのお問合せ先

ケアパートナー株式会社 コーポレート・コミュニケーション部
TEL: 070-3541-3331 (担当: 荒谷)
E-mail: cp-koho@kentak.co.jp